

公式 LINE を用いた商店街振興プロジェクト Shopping district revival project using official LINE

グループ名:TAMAP

学生氏名: 内野 彰紀¹⁾, 新垣 颯太¹⁾, 米満 麗旺乃¹⁾, 西口 和秀¹⁾

指導教員: 細野 繁¹⁾

1) 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科

キーワード:チャットボット,商店街振興,八王子北口商店街,電子クーポン,

1. はじめに

私たちは、多摩地域マイクロツーリズムプロジェクトに参加している。このプロジェクトはコロナが与えた地域経済への影響を打破するべく地域の魅力を再発見するなど、継続性のある地域活性化を目指すために発足した官民連携で実施する、都内初のプロジェクトだ。

私たちは八王子駅北口商店街にフォーカスを当てて、商店街の振興を観光課、商工会と連携しながら目指している。

2. 八王子市,八王子市北口商店街の特徴

八王子市は、観光ガイドで紹介される高尾山や豊かな自然に囲まれている。また 21 の大学や短期大学、高専、があり約 10 万人の学生が学んでいる。商業施設も充実しているので若者も多く住んでいる。

八王子駅北口商店街は旭町地域内にある商店、会社によって組織されている。大型店から北口商店街で昔から営業している商店まで多くのお店で八王子を盛り上げている。

3. サービス

3.1. サービスの提案

私たちは八王子駅北口商店街にフォーカスを当てて商店街の振興プロジェクトを行う。近年コロナウイルスの影響により、テナントの減少、通信販売サービスの普及によりお店に行かなくても買い物が出来る時代になってしまった。

しかし、実際に足を運ばないと価値がわからない商品がある。また、思いがけない商品との出会いがある。このように通信販売にはない魅力をより多くの人に伝える必要があると考えた。

3.2. サービスの内容

提案したサービスを実現するために私たちは LINE チャットボットの開発を始めた。このチャットボットはユーザーに対して商店街に関連するクイズやミッションを提示する。クリアに応じて電子クーポンを発行するサービスになっている。このクーポンを獲得するために商店街を訪れてクイズやミッションの答えを探しに行く、クーポンを利用するためにお店を訪れるため商店街を訪問する機会が増加する。普段よりも多く周囲を観察し普段利用しないお店にも利用できる機会が増えるため見つけられなかった魅力を発見する機会を作ることが出来る。

3.3. サービスのモデル図

私たちはサービスをより明確にするためにビジネスモデルを作成した。(図1)

今回は私たちのチームでチャットボットの開発と運営を行う。初めにユーザーに LINE の友達追加を行ってもらい、クイズやミッションに挑戦してもらい、挑戦にクリアするとクーポンを発行し、そのクーポンを指定のお店で利用してもらい、クイズやミッションでは訪れてほしい場所に狙って作成することが可能でクーポンも同様に行うことができる。クイズやミッション、クーポンを通して商店街の魅力を伝えるきっかけを作ることが出来るのではと考えた。

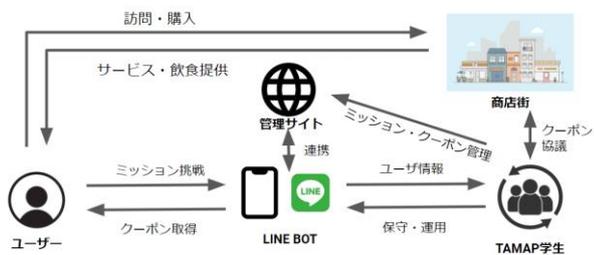


図1 ビジネスモデル図

4. サービスの詳細

今回私たちが作成した LINE チャットボットでは選択式のクイズをミッションにする事によってユーザーが直接メッセージを入力しなくても操作が可能となっている。(図2)



図2 LINE の操作画面

LINE チャットボットは AWS の EC2 を用いた

システム第15回大会のフォーラムから発表会からのデータを取得し、適切な処理を経てミッション情報をレスポンス情報に含める。ミッションの追加方法としてはサーバ上で作成した Web サイトでミッション情報を追加する。管理コストを低減するためにミッション追加やクーポン追加に関しては GUI 操作で行えるようにした。(図3)

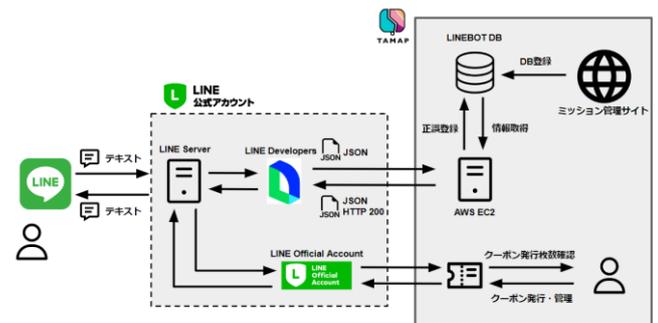


図3 システム構成図

5. 実装前の事前評価,課題

実装を行う前の事前評価とはなってしまうが、八王子駅北口商店街の方々から評価を得た。商店街側の方から好印象を頂き、特に個人商店、レンタルオフィスなど候補店舗も提案して頂き、連携していくことで合意した。また課題として、クーポンの経費処理の方法やサービスの継続性などが挙げられた。

6. サービスの評価

ユーザーはチャットボットを用いることで、対話形式でクイズ、ミッション、クーポンの獲得状況を確認する事が出来る。またサービスを利用することで訪問したことがない場所や、普段気にしない部分に目が行き魅力の再発見を行う事が出来る。

7. 今後の展望

今回私たちは八王子市北口商店街にフォーカスを当てているがクーポンの数やクイズ、ミッションの数も増やしバリエーションを増やしていきたい。今後は八王子駅北口商店街の実装データを用いて、地域を拡大しより多くの人に利用してもらいたいと考えている。